

UBZ-R51

特定小電力中継器

スタートアップガイド

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこのスタートアップガイドと取扱説明書（基本編）をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。

操作方法や製品の詳しい説明については、「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください

本書は製品を使用開始するまでの設置・操作手順を中心に説明しています。
各種機能の設定や「故障かな?と思ったら」など、詳しい使い方については、
下記のURL、または右記のQRコードからアクセスできる「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

<https://manuals.jvckenwood.com/>

同梱品

同梱品がすべて揃っていることをご確認ください。

・中継器（本体）.....	1	・壁掛けブラケット用ネジ+ワッシャー	4
・ACアダプター	1	・落下防止ストラップ用ネジ+ワッシャー	1
・壁掛けブラケット	1	・スタートアップガイド	1
・落下防止ストラップ	1	・取扱説明書（基本編）	1

※保証書については、「取扱説明書（基本編）」をご覧ください。

B5A-4866-00 (J)

株式会社 JVCケンウッド

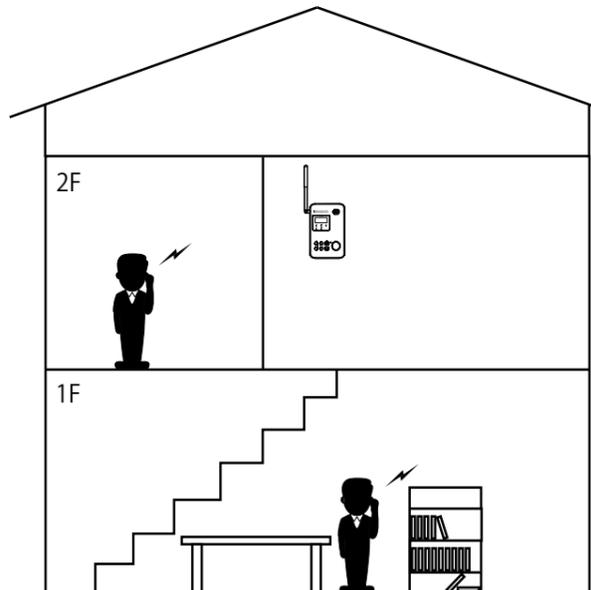
本機の使用手順

本機を壁面に設置して使用するまでの手順を説明します。壁面に設置せず、台などに横向きに置いた状態でも使用できます。
本書では「単中継」モードで、壁面に設置して使用を開始するまでの手順を説明します。「単中継」モードは通常使用するレピーターモード（セミデュプレックス）です。1台のレピーターを介してトランシーバー間で「話す」「聞く」を交互におこなって通話します。
※「単中継」モード以外での使用手順は「取扱説明書（詳細編）」をご覧ください。

1. 設置場所を決める

特定小電力中継器は設置場所により、大きく変わる場合があるため、はじめに設置場所の検討をします。

1. 使用する範囲の中間地点を確認する
2. 障害物がないかを確認する
 - ・なるべく見通しの良い場所や高い位置を探します。
3. 周囲の環境を確認する
 - ・周囲に電波に影響を与えるものや電波を遮断する金属製のものが無いかを確認します。
4. 設置場所（壁や柱など）を決める
 - ・手で押すとへこんでしまう壁には取り付けないでください。
 - ・石膏ボードやベニヤ板などは、取り付け用のネジが緩んで本機が落下する恐れがあります。



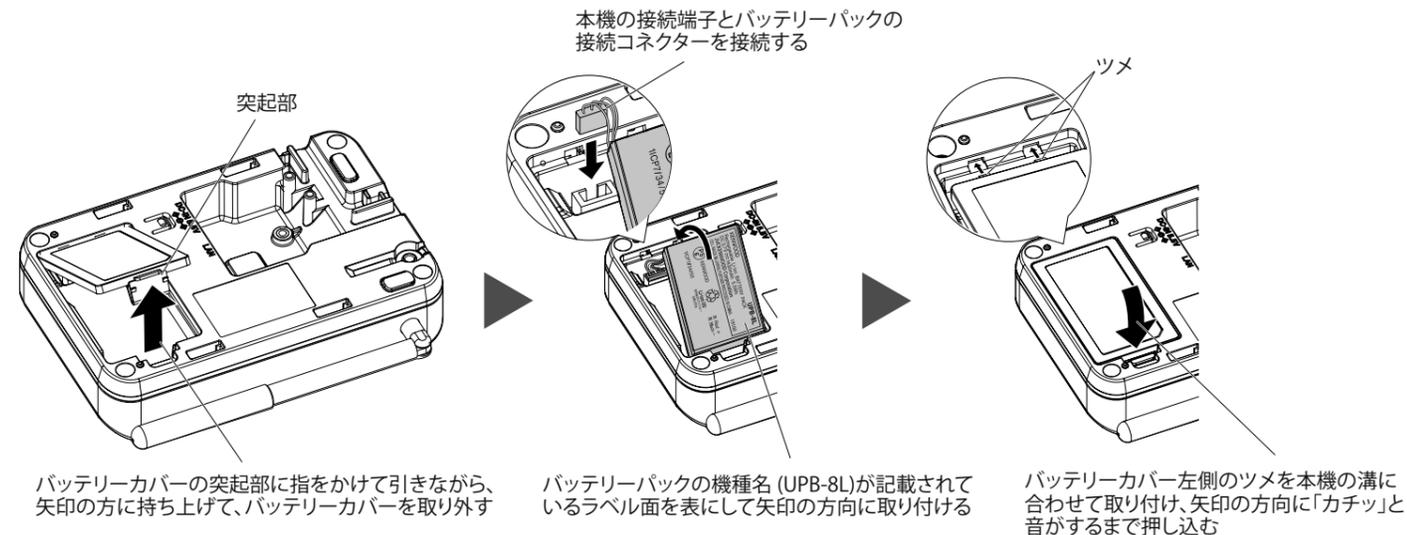
- ◆ 特定小電力中継器は特定小電力無線機の通信距離を単純計算で2倍にできる装置です。通話するエリアの中間地点、なるべく高い場所への設置をおすすめします。
- ◆ 屋内の雨や水滴のかからない場所で、周囲の壁や金属性の物から離して設置してください。

2. 設置の準備をする

本機の設置を行う前に、バッテリーパック（別売品）や落下防止ストラップ、ACアダプター（DCプラグ）の取り付けをします。

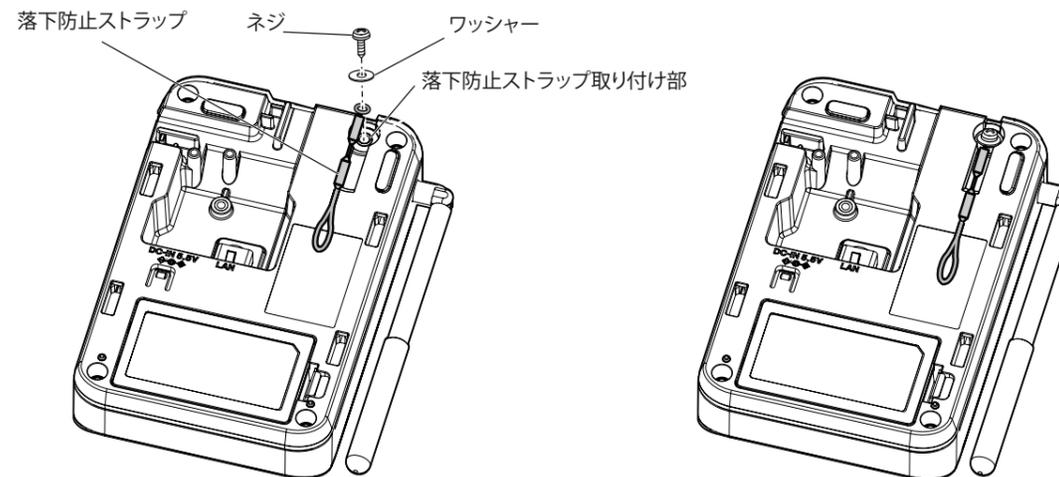
バッテリーパック（別売品）の取り付け

停電したときなどでも動作できるように、別売りのバックアップ電池（リチウムイオンバッテリー：UPB-8L）を取り付けることができます。
※バッテリーパックの取り付け/取り外しを行うときは、本機の電源をOFFにしてください。



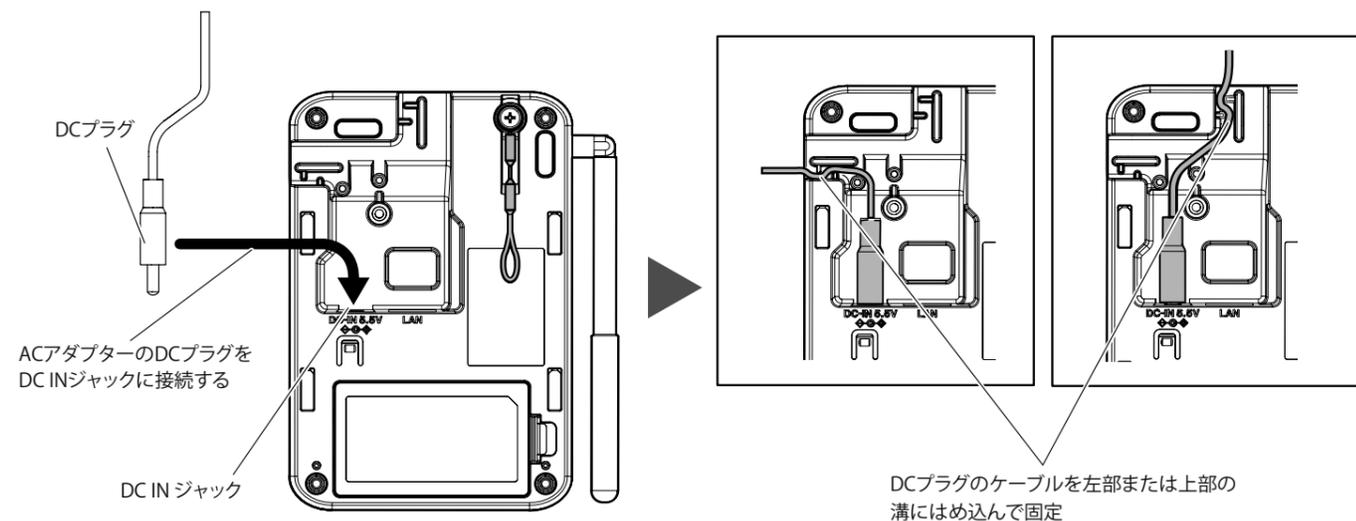
落下防止ストラップの本機への取り付け

落下防止ストラップを本機背面の落下防止ストラップ取り付け部に付属のネジとワッシャーで取り付けます。



ACアダプター（DCプラグ）の接続

ACアダプターのDCプラグを本機背面のDC IN ジャックに接続します。ACアダプターは必ず付属品をご使用ください。

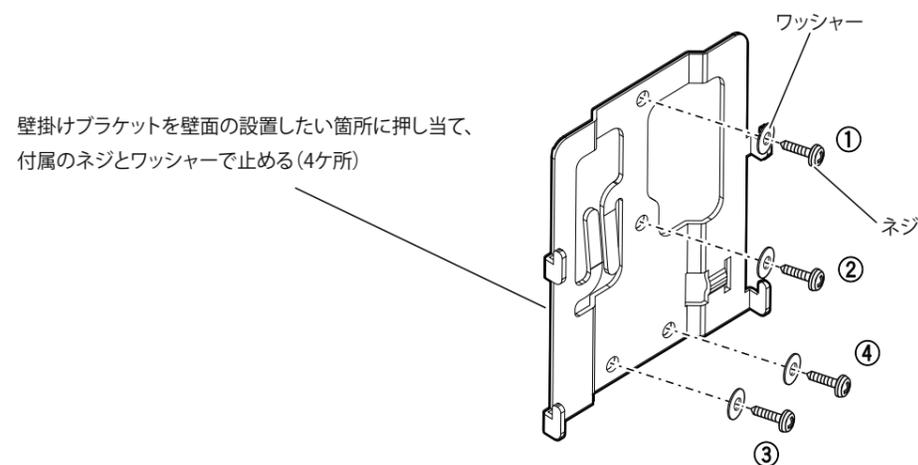


3. 本機を壁面に設置する

設置場所を決定し、設置の準備まで完了したら、壁面への設置を行います。

壁掛けブラケットの設置

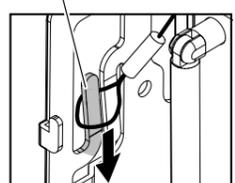
本機を設置したい位置に壁面取り付け用のブラケットを設置します。
壁掛けブラケットの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。



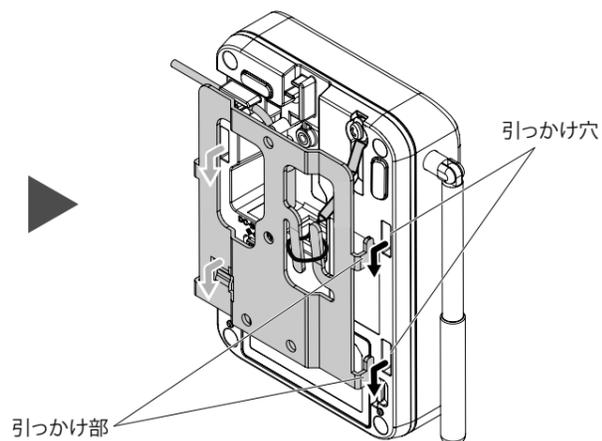
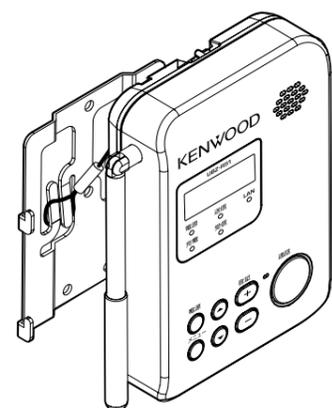
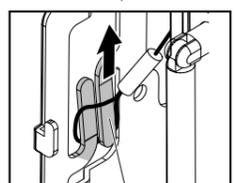
壁掛けブラケットへの取り付け

落下防止ストラップ、バッテリーパック、ACアダプター (DCプラグ) を取り付けた本機を壁面に設置した壁掛けブラケットに取り付けます。

ストラップ引っかけ部の左側に上から輪の部分にくぐらせる

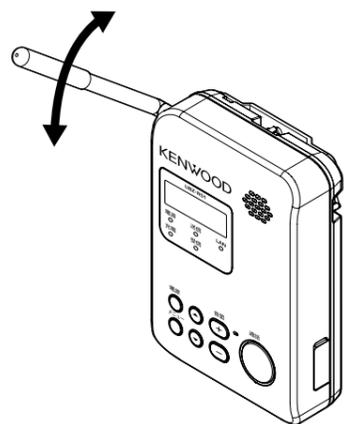


ストラップ引っかけ部の右側にも輪の部分にくぐらせる



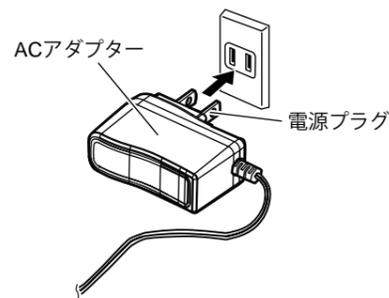
アンテナの調整

アンテナを壁や金属性の物から離れるように位置を決めます。



ACアダプターを接続

ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込みます。



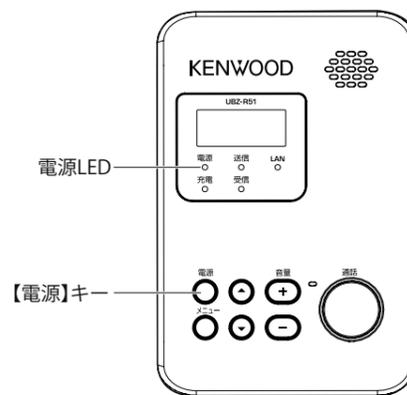
⚠ ACアダプターのコード処理にご注意ください。コードに足を引っかけてりすると、本機の落下・破損の原因となります。コードに無理な力が加わる設置は避けてください。

4. 使い始める

電源をONにする

1. 本機正面にある【電源】を長く押す

- 起動音が鳴り本機の電源が入り、起動すると電源 LED が点灯します。
- もう一度【電源】を長く押すと、電源 LED が消灯して電源が切れます。



2. チャンネル表示画面が表示されたことを確認する

- 本機をはじめて起動したときは、運用モードが「単中継モード」となります。画面上部に「単体」と「中継」が表示されます。

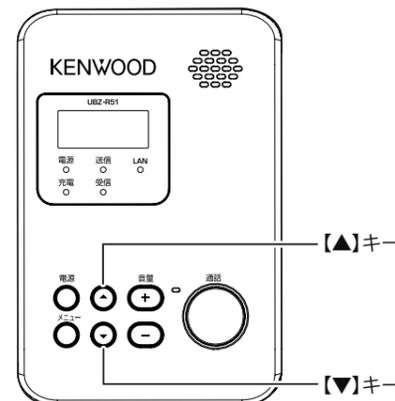


チャンネル番号とグループ番号を設定する

単中継モードで通話する場合は、特定小電力無線機のチャンネル番号とグループ番号は、本機の設定と同じにしてください。

チャンネル番号の設定

1. 【▲】または【▼】を押す



- 【▲】または【▼】を押すごとにチャンネル番号が切り替わります。初期設定は「CH 1」です。

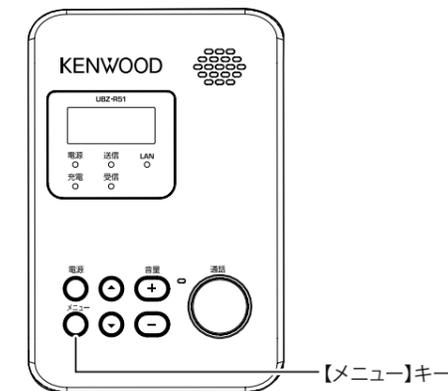


例：3チャンネルに合わせた場合

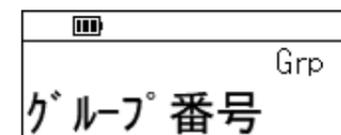
グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで交信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、混信がなく快適な通話ができます。

1. 【メニュー】を押す



- 画面右上のグループ番号が点滅します。



2. 【▲】または【▼】を押す

- 押すごとにグループ番号が切り替わります。設定範囲はOFF、1～38になります。初期設定は「1」です。



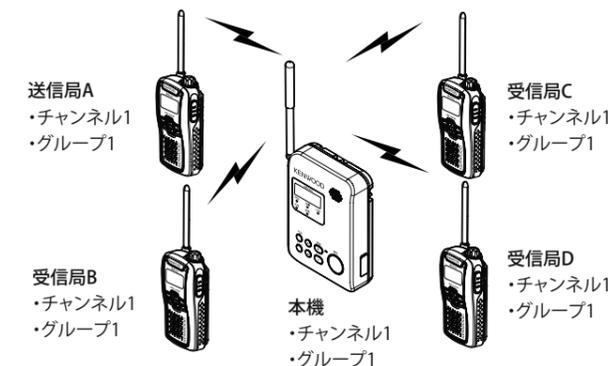
例：3チャンネル、グループ10に合わせた場合

⚠ ◆本機の設定はパソコンと本機をLANで接続し、Web Tool から行うこともできます。詳しくは、「取扱説明書(詳細編)」をご覧ください。

本機とトランシーバーで動作確認をする

チャンネル番号とグループ番号の設定が完了したら、本機とトランシーバーで動作確認を実施します。

- 使用するトランシーバーのチャンネル番号とグループ番号を本機に設定した番号に合わせる
- いずれかのトランシーバーの【PTT】を押し、通話が始まることを確認する



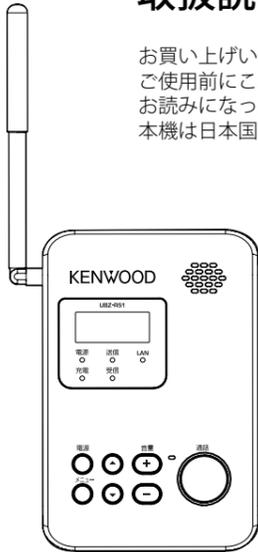
⚠ ◆トランシーバーの運用モードを「中継器アクセスモード(セミデュプレックス)」に設定してください。

UBZ-R51

特定小電力中継器

取扱説明書 (基本編)

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書 (基本編) とスタートアップガイドをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。
本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



操作方法や製品の詳しい説明については、「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください

本書は製品の基本的な取り扱いについてのみ説明しています。
各種機能の設定や「故障かな?」など、詳しい使い方については、
下記のURL、または右記のQRコードからアクセスできる「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。



<https://manuals.jvckenwood.com/>

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、特定小電力トランシーバーです。本機裏面の工事設計認証ラベルをはがさないでください。
- 本機を分解したり、改造したりして使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用したりすることは電波法により禁止されています。
- 無線機の使用が禁止されている所があります。使用する場合は、その施設管理者にお問い合わせください。
- この無線機の LANポートとルーターなどを LANケーブルで接続して、インターネット回線 (WAN) にアクセスすることは電波法上できません。

株式会社 JVCケンウッド

B5A-4862-00 (J)



KENWOOD 無線機器 保証書

型名 / 製造番号 (S/NO.)	※お買い上げ日
型名 / 製造番号 (S/NO.) ラベル貼付 ※ 本保証書は、型名 / 製造番号 (S/NO.) のラベルが貼付されているもののみ有効です。	年 月 日
※ お名前	保証期間 (お買い上げ日より)
※ ご住所 〒	無線機本体 : 1 年
※ 電話番号 ()	付属品 : 1 か月
※ 取扱販売店、住所、電話番号	

※印欄について、記入願います。

持込修理

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。
● 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
● 修理受付時にご提示いただく本保証書に記入されたお客様情報は、保証期間内のサービス活動及び、そのあとの安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からはフリーダイヤル **0120-2727-87**

携帯電話からはナビダイヤル **0570-010-114**

一部の IP 電話からは **045-450-8950**

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)

受付時間 月～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00 / 13:00～17:30

ご使用の前に

免責事項について

- ◆ 本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- ◆ お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

付属品 / 保証書について

- AC アダプターなど付属品の保証期間は、無線機本体の保証期間と異なります。詳細は、裏面の「保証とアフターサービスについて」をご覧ください。
- 保証書は、本書「取扱説明書 (基本編)」表面の左下部分をご覧ください。

オプションについて

本機のオプションについては、弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/pro/com/license-free/option/>



使用済みバッテリーパックの取扱注意事項

- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



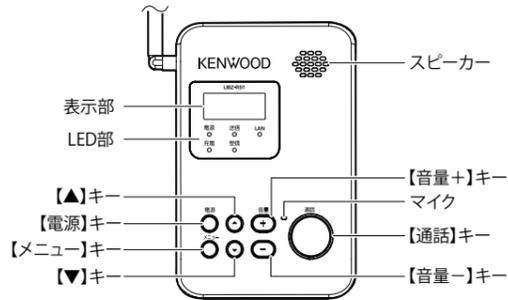
Li-ion 00
充電式

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、弊社営業担当窓口、または販売店へお持ちください。リサイクルにご協力お願いいたします。

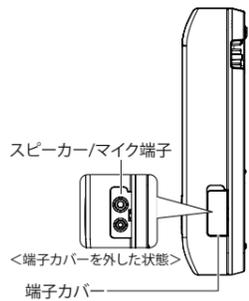
各部の名称

各部の機能については、「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。

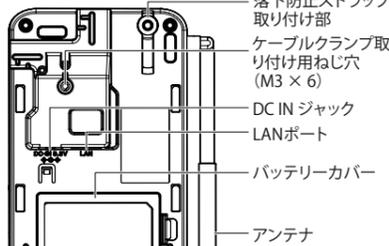
前面



側面



背面



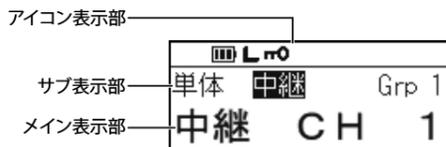
基本操作

操作説明の詳細については、「取扱説明書 (詳細編)」をご覧ください。

操作	操作部位	説明
電源を ON/OFF	【電源】	長押し (0.5秒以上) ごとに電源を ON/OFF します。
送信	【通話】	このキーを押している間、通話ができます。
簡易メニューを表示		簡易メニューを表示します。
キーロック	【メニュー】	長押し (1秒以上) ごとにキーロックを ON/OFF します。
チャンネルを変更	【▲】	チャンネルを変更 (UP) します。長押し (1秒以上) すると、連続してチャンネルが変わります。
	【▼】	チャンネルを変更 (DOWN) します。長押し (1秒以上) すると、連続してチャンネルが変わります。
音量を調節	【音量+】	音量を上げます。長押し (1秒以上) すると、連続して音量が上がります。
	【音量-】	音量を下げます。長押し (1秒以上) すると、連続して音量が下がります。
モニター*	【電源】+【▼】	モニターが ON になります。起動中はモニターが動作し続けます。
パワーオンメニュー*	【電源】+【メニュー】	パワーオンメニューが表示されます。 ・キーロックが ON の場合は使用できません。
オールリセット*	【電源】+【▲】+【▼】	設定されている内容がすべて消去され、初期設定の状態に戻ります。
バッテリー保護機能リセット*	【電源】+【メニュー】+【▲】+【▼】	バッテリー保護機能が動作した場合に、バッテリー保護機能のリセットします。古いバッテリーを新しいバッテリーに交換後に操作してください。

※ 本機を電源 OFF にしてから操作してください。

画面表示



表示	説明
	バッテリー残量を 3 段階で表示します。
	ボイススクランブル (秘話) 使用時に表示します。
	ローパワー送信に設定されているときに表示します。
	受信信号のモニター時に表示されます。
	キーロックが ON に設定されているときに表示します。
	オートチャンネルセレクトを使用中に表示します。

使用上のご注意

本機の使用にあたって

- 本機は特定小電力トランシーバー用の屋内用特定小電力中継器 (レピーター) として動作し、基地局として運用もできます。27 チャンネル対応で、壁やフロアなど電波の届きにくい階層での不感地帯を解消します。本機はマイクとスピーカーを搭載しており、基地局として特定小電力トランシーバーとの通話もできます。
下記 5 つの運用モードを使用できます。
 - ・単中継モード (セミデュプレックス)
 - ・LAN SD モード (セミデュプレックス)
 - ・LAN SP モード (シンプレックスモード)
 - ・基地 SP モード (シンプレックスモード)
 - ・基地 SD モード (セミデュプレックス)
- 本機は呼出し局からの信号で自動的に動作を開始します。
- 本機は中継動作を開始してから通信制限時間の 3 分が経過すると、自動的に中継動作を終了します。(ハイパワー送信設定時)
- 本機は通信制限時間の 3 分が経過して、自動的に中継動作を終了した後は、送信休止時間の 2 秒が経過しないと新たな中継動作はおこなえません。
- 本機は屋内用です。水などでぬれやすい場所では使用しないでください。
- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離してお使いください。
- 必ず落下防止ストラップを使用し、本機の落下防止対策をしてください。
- 本機の LAN ポートとルーターなどを LAN ケーブルで接続してインターネットにアクセスしないでください。
- 本機で使用可能な特定小電力トランシーバーは下記の通りです。
 - ・UBZ-BH47FR
 - ・UBZ-S20
 - ・UBZ-S27
 - ・UBZ-S700
 - ・UBZ-BM20R
 - ・UBZ-EA20R
 - ・UBZ-LP27R
 - ・UBZ-LS27R
 - ・UBZ-M31
 - ・UBZ-M31E
 - ・UBZ-M51L
 - ・UBZ-M51LE
 - ・UBZ-M51S
 - ・UBZ-M51SE
 - ・UBZ-EA20R
 - ・UBZ-LU27
 - ・UBZ-LU27BT
 - ・UBZ-BM51
 - ・UBZ-BM51BT

レピーターを効果的にご使用いただくために
レピーターは、設置場所によって通信距離が大きく変わることがありますので、下記の項目に注意して設置、ご使用をお願いします。

- レピーターの設置場所は、ご使用になる特定小電力トランシーバーの移動範囲のほぼ中間の距離にしてください。
- レピーターからそれぞれのトランシーバーが壁などに遮られないように、なるべく見通しの良い場所に設置してください。

電源について

- 本機は停電したときでも動作できるように、別売りのバックアップ電源 (リチウムイオンバッテリー) を内蔵することができます。外部 DC 電源 (AC アダプター) とバックアップ電源 (リチウムイオンバッテリー) の自動切換え機能が備わっており、停電などによりバックアップ電源に切換わったときは、「バッテリーワーニングトーン」が 5 秒間送信されます。「バッテリーワーニングトーン」を受信した子機は、トーン受信の通信が終了するまで中継動作はおこなえません。
- 本機がバックアップ電源で動作中は、中継中の音声に「バッテリーオペレーショントーン」が 5 秒間隔で送信されます。
- バッテリーは別売品のリチウムイオンバッテリー (UPB-8L) を使用してください。

バッテリー残量表示について
バッテリーの残量の目安を表示します。表示が 1 個点灯になると、「バッテリーオペレーショントーン」の代わりに「バッテリー減電圧警告音」が 5 秒間隔で送信され、バッテリーが消耗していることをお知らせします。早めに外部 DC 電源に切り換えるか、予備のバッテリーと交換してください。外部 DC 電源での運用中は、常に 3 個点灯状態となります。
 : 3 個点灯 : 2 個点灯 : 1 個点灯

バッテリーセーブについて
バックアップ電源での運用中に、リチウムイオンバッテリーの消費を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 3 分間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。

- バッテリーパックの特性について**
- 充電/放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
 - 使用せずに置いておくだけでもわずかながらバッテリーの劣化が進みます。
 - 高温状態で充電/放電をおこなったり、無線機を使用したりすると寿命が短くなります。また、高温状態で保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
 - バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
 - 長期間保存後は、バッテリー容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

	危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	注意 (警告を含む) が必要なことを示す記号です。
	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水が掛かる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

 危険
使用環境・条件
 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。
 運転しながら本機を操作 (通信) するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作 (通信) してください。

バッテリーパックの取り扱いについて

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

-  電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。
-  充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
-  火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解したりしないでください。
-  濡れた本機とバッテリーパックを充電しないでください。火災や感電の原因となります。
-  端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
-  必ず指定のバッテリーパック、ACアダプターを使用して充電してください。指定以外の機器を用いて充電すると故障の原因になります。

バッテリーパックから内部の液体などが漏れている場合は、直ちに使用をやめて、下記のことをお守りください。

-  液体が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

-  液体が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

 警告
使用環境・条件
 電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
 空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認したうえでご使用ください。
 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。

ACアダプターの取り扱いについて
 AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

-  ACアダプターは専用の付属品を使用してください。専用の付属品以外のものを使用した場合、火災・感電・故障の原因となることがあります。

-  タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。

-  濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

-  ACアダプターはACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

-  ACアダプターの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。

使用方法について

-  本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

-  水などで濡れやすい場所 (風呂場など) では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

-  本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・やけど・感電・故障の原因となります。

-  本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・やけど・感電・故障の原因となります。

-  アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。

-  高温になる場所 (火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で使用、保管、放置しないでください。火災・やけど・けがの原因となります。

-  本機の付属品や、本機から取り外したものを幼児、子供の手の届くところに置かないでください。あやまって飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

-  ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

-  本体にぶら下がらない、本体の上に物を置かないでください。けがや破損、故障の原因になります。

-  本機は、充電動作中にバッテリーパックの温度が高くなる場合があります。バッテリーパックを交換するときは、やけどに十分気を付けて取り外してください。

異常時の処置について

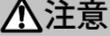
-  内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損したりした場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがしたりするなどの異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・やけど・感電・故障の原因となります。

-  煙が出たら、すぐにACアダプターをACコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

-  落下などにより破損した部品には直接触らないでください。けがの原因となります。

-  雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグをコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

保守・点検
 本機のケースは開けしないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

 注意
使用環境・条件
 テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。
 湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
 電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断できません。完全に遮断するには、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。機器はACコンセントに容易に手が届く位置に設置してください。

使用方法について

-  オプション機器は指定された製品以外を使用しないでください。指定機器以外を使用すると誤動作や故障の原因になります。

-  バッテリーカバーが外された状態で本機を使用しないでください。

-  バッテリーカバーやバッテリーパックの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。

-  バッテリーカバーやバッテリーパックの取り付けの際は浮き、隙間が出ないようにご注意ください。

-  スピーカー/マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

-  乾燥した部屋やカーベットの敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用したときに静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

-  長期間使わないときは、バッテリーパックを外して、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

-  お手入れの際は、バッテリーパックを外して、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

-  イヤホンを使用するときは、電源を入れる前に音量を下げてください。聴覚障害の原因となることがあります。

-  スピーカーマイクロホンなどを本機に接続している場合は、音量を下げてください。モニター機能を使用するときの音量に注意してください。

-  水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

保証とアフターサービスについて

保証書

この製品には、本書内に保証書を記載しています。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのこと、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より**1年間** です。付属品の保証期間は、お買い上げの日より**1か月**です。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えくださいますようお願いいたします。

保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期限

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後最大**6年**程度対応できるよう努めておりますが、部品メーカーの部品廃止などにより修理の可否が変化することがあります。製造打ち切り後の修理の可否に関しては JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み (有料修理の場合は下記の料金が必要です。)

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業に掛かる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。**送料：**郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

保証書についてお客様へのお願い

この製品には、本書内に保証書を記載しております。保証書にお買い上げ年月日、販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出ください。購入日の確認ができる書類 (シールやレシートなど) の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。

修理の際、保証書を提示いただく場合は、お客様にて下記の内容を保証書に記入願います。

- お客様のお名前
- お客様のご住所
- お客様の電話番号

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。
- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。URL https://www.kenwood.com/jp/cs/service/
- ユーザー登録 (My-Kenwood) をご利用ください。お買い上げいただいたケンウッド商品をご愛用いただくために、弊社ホームページ内でユーザー登録をおすすめします。URL https://jp.my-kenwood.com

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター			
固定電話からは、フリーダイヤル		0120-2727-87	
携帯電話からは、ナビダイヤル		0570-010-114	
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は		045-450-8950	
FAX を送信される場合は		045-450-2308	
住所	〒 221-0022	神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12	
受付日	月曜日～土曜日 (祝祭日および、弊社休日を除く)		
受付時間	月～金曜日 9:30 ～ 18:00		
	土曜日 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30		

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

保証書規定
【無料修理規定】
1 本保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッド・サービスにて無料修理をさせていただきます。
2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。なお、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
3 ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4 ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
5 次の場合には保証期間内でも有料になります。

(1) 本保証書のご提示のない場合。
(2) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
(3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
(4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
(5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
(6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
(7) 一般家庭用に製造された製品を、業務用途で使用された場合の故障及び損傷。
(8) 製造番号が改変または消去された製品。
(9) 消耗部品 (乾電池、充電池等) の交換。
(10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理をおこなう場合の出張料金。
6 保証書は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
7 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。
※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者 (保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。